

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズきんじょう		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PDCAサイクルを意識した業務(会議や話し合いの設定)が定着し、活動や支援の充実に繋がっている。	計画性を持って業務や支援に取り組めるよう、週間、月間、年間の予定表を作成している。	あらためて、PDCAと各会議、話し合いの趣旨を職員間で共有する機会を作る。
2	多機能型(放課後デイ、生活介護、相談支援、グループホーム、短期入所)で事業を実施している。	施設内研修を多機能事業所全体で行う事で、他事業職員との意見交換等の機会を作っている。また、外部講師も招く事もしている。	各事業単位の会議や話し合いに、他事業の職員が参加する事で活性化を図る。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後学童クラブや地域のこどもとの交流の機会が少ない。	新型コロナウイルスの感染が拡大している中、事業所内での活動の充実に力を注いでいたため。	まずは職員が、放課後学童クラブや地域住民と交流する機会を持つ。
2	消防計画、BCP計画、児童安全計画、各種マニュアルは作成済みで、各種訓練などは実施しているが、保護者への周知や説明、発信などが不十分。	保護者への周知や説明、発信の必要性に関する、職員間の共有が不十分だった。	契約時や面談時に直接お伝えするとともに、事業所の通信やホームページを活用して積極的に周知、発信していく。
3			